



▲ハイキングを楽しむ参加者

楽しく歩いて健康に！

健康づくりハイキング

3月7日、栖本福祉会館をスタート・ゴールとする5kmのコースで「健康づくりハイキング」が開かれ、地元の高齢者など98人が参加しました。市社会福祉協議会栖本支所が、高齢者の健康づくりと親ぶくを目的に毎年実施しているもの。この日は晴天に恵まれ、参加者は思いおもしろいペースで歩きながら、西真寺など地元の名所や風景を満喫していました。

天草の伝統や芸術文化を次世代へ

あまくさ子ども芸術祭2015

子どもたちが歌や踊りなどを披露する「あまくさ子ども芸術祭2015」が2月15日、天草市民センターで開かれ、400人が来場しました。平成25年に「くまもと子ども芸術祭」が本市で行われたことをきっかけに、市芸術文化協会が天草の伝統や芸術文化を次世代に継承しようと、初めて開催したものです。

市内の小・中学生6団体140人が出演し、「子どもロック調ハイヤ踊り」や「宮田棒踊り」などを披露。来場者からは大きな拍手が送られていました。



▲宮田棒踊りを披露する子どもたち

色鮮やかなひな人形に見入る

鬼池ひなの会

2月14日から3月8日まで、鬼池地区コミュニティセンターを主会場に「鬼池ひなの会」が開催され、多くの人出でにぎわいました。鬼池まちづくり振興会が、地域に残るひな人形を集めて展示し、地元住民の交流の場にしようと毎年行っているもの。各会場には住民が寄贈した段飾りや手作りの人形、つるしびななどが展示され、来場者は色鮮やかなひな人形に見入っていました。



▲飾られたひな人形を眺める来場者

43年の歴史に幕をおろす

天草高校天草西校で閉校式

3月2日、天草町の天草高校天草西校の「閉校式」が同校体育館で行われ、最後の在校生となった3年生8人や教職員、卒業生、地元住民など230人が出席しました。同校は昭和47（1972）年に開校。43年の歴史があり、これまでに2,272人が卒業しています。式では、生徒会長の林田梨佳さんが、「これまで支えてくださった先生、友人、地域の人々に感謝し、前に進んでいきたい」とあいさつ。その後に行われた校旗収納や校歌斉唱では、涙を流す出席者も見られ、天草西校との別れを惜しんでいました。



▲校歌斉唱をする出席者



▲手をつないで仲良くゴールする参加者

ペアで走って仲良くゴール

宮田地区ペアーマラソン大会

2人1組で参加し、2人そろってゴールする「第29回宮田地区ペアーマラソン大会」が3月15日、倉岳大えびす像公園をスタート・ゴールとする2kmのコースで開かれました。市内外から夫婦や親子など200組が参加。参加者は心地よい汗を流しながら、仲良く走っていました。ゴール後は、豪華賞品が当たる抽選会が行われ、自転車などの当選者が決まると大歓声が上がっていました。

毎年楽しみにしています

島子小学校児童と地元婦人会が花の苗と雑寿司を配付

3月3日、有明町の島子小学校5・6年生27人と地元婦人会の会員が、島子地区の1人暮らしの高齢者宅56軒を訪問し、児童たちが育てた花の苗と手紙、同会が作った雑寿司を贈りました。島子地区振興会が高齢者への声かけと世代間交流を目的に、毎年実施しているもの。受けとった高齢者は、「ありがとう。毎年この日を楽しみにしています」と笑顔で話していました。



▲高齢者に花の苗を手渡す児童